



公益財団法人

日本学術協力財団

Newsletter of Japan Science Support Foundation

ISSUE 39, October 2022

Newsletter

データベース学会名鑑について

財団は、平成23年7月より、学協会の活動を発信するとともに科学技術情報の効率的な流通を目的として、日本学術会議、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）と連携してデータベース学会名鑑の運用を行っていましたが、同事業に係るシステムの構築と運用は今年度から、国立研究開発法人科学技術振興機構から日本学術会議に移管されることとなり、これを受けて、現在、日本学術会議においてシステムの改修工事中です。

新たなシステムでの運用が開始されるまでは日本学術会議ホームページ「日本学術会議協力学術研究団体」をご覧ください。改修工事が終わりましたら、改めてご案内いたします。

「学会名鑑」の掲載学会は、日本学術会議協力学術研究団体を対象とし、毎年、日本学術会議が行う実態調査を基にデータを更新いたします。このデータは、学協会関係の各種施策の企画・立案等、社会の多方面で活用されています。

本年度の調査の実施については、現在のところ未定です。

各学術団体の関係者の皆様におかれましては、学協会の活動を発信するとともに科学技術情報の効率的な流通を目的として、引き続き、本事業にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

日本学術会議協力学術研究団体：

<https://www.scj.go.jp/ja/group/dantai/index.html>



this issue

データベース学会名鑑について
学術会議叢書について
寄附金・賛助会費の所得税控除等について
日本学術会議地区会議等について
学術関係団体事務支援事業
出版物のご案内

公益財団法人日本学術協力財団は、賛助会員と助成金・寄附金を拠出いただいた方々のご厚意により、運営されています。

— 編集・発行 —

公益財団法人
日本学術協力財団
〒107-0052

東京都港区赤坂 4-9-3

TEL 03-3403-9788

FAX 03-5410-1822

URL <http://jssf86.org/>

2022年10月1日発行



学術会議叢書 30

『「人間の尊厳」とは——コロナ危機を経て』 (仮) の出版について

財団では、学術及びその成果を広く一般に普及するため、日本学術会議の部や委員会・分科会において審議された内容や、公開講演会など各種シンポジウムの記録を基に編集を行い、最新の知見を加えて、『学術会議叢書』を刊行しております。

令和4年度は、『「人間の尊厳」とは——コロナ危機を経て』と題する叢書を発行いたします。

世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は、経済のみならず、社会規範や私たちの価値観に大きな変容をもたらしました。多くの感染者で混乱する医療現場では、患者一人ひとりの人としての尊厳を守るのが難しい状況になりました。さらに、死者についても、人間らしい死とその弔いが守れない事例が生じています。

今では、with/after コロナの世界を見据えた動きが出ています。このコロナ危機を経て、私たちの「人間としての尊厳」はどのように変容した (する) のか、with/after コロナの世界では、それらは守られるものなのか、「人間の尊厳」について、哲学、法学、医療・医学、宗教学など、様々な立場からの専門知を集結して、一冊の図書として纏める予定です (2023年1月発行予定)。是非、ご期待ください。

なお、本叢書につきましても、例年と同じく、公益財団法人一ツ橋総合財団から助成をいただき、全国約1,500か所の国公立図書館、大学図書館等に寄贈することになっております。

内容ならびに執筆者は、下記の通りです。

【目次】

発刊に寄せて	日本学術会議会長 梶田隆章
巻頭言	日本学術会議連携会員、山梨大学名誉教授 香川知晶
哲学の立場から	日本学術会議連携会員、椋山女学園大学教授 加藤泰史
法学の立場から	日本学術会議連携会員、法政大学法学部教授 建石真公子
医療・医学の立場から	医師、フジ虎ノ門整形外科病院 齊尾武郎
市民・当事者の立場から	フリーライター、(一社)日本ケアラー連盟代表理事 児玉真美
医療社会学の立場から	立命館大学先端総合学術研究科教授 美馬達哉
宗教学の立場から	日本学術会議連携会員、関西学院大学神学部教授 土井健司
倫理学の立場から	日本学術会議連携会員、山梨大学名誉教授 香川知晶
あとがき	日本学術会議連携会員、関西学院大学神学部教授 土井健司

(すべて仮題、敬称略)

寄附金・賛助会費の 所得税控除等について

公益財団法人である弊財団に対する寄附金・賛助会費は、特定公益増進法人への寄附金として確定申告により、税額控除等の税制上の優遇措置が受けられます。

個人の方の弊財団に対する寄附金及び賛助会費につきましては、確定申告により、所得税の税額控除または所得控除のいずれかを選択して受けられます。

また、来年1月1日現在、東京都にお住まいの方は、確定申告により、個人住民税の税額控除が受けられます。

法人の場合、法人税について、一般寄附金の損金算入限度額とは別枠で、特定公益増進法人に対する寄附金として特別損金に算入できます。算入限度額を超えた分は、一般の寄附金に係る損金算入限度額に算入できます。

本年1月1日～12月31日までにいただいた賛助会費・寄附金につきましては、来年の確定申告の際に必要な領収証等を、本年12月初旬頃から、順次、お送りする予定です。

学術関係団体事務支援事業

【日本農学アカデミー】

9月29日(木)、オンラインにて、シンポジウム「東南アジアのアブラヤシ農園の持続的開発の問題点と課題」が開催されましたが、財団がその支援を行いました。

11月5日(土)、東京大学弥生講堂及びオンラインのハイブリッド形式にて、シンポジウム「日本の食料問題を考える—ひっ迫する日本の食料需給—」が開催されますが、財団がその支援を行います。



日本学術会議地区会議等の 公開講演会開催に対する支援

財団は、日本学術会議の各地区会議等が開催する下記の学術講演会について、開催に係る支援を行っています。

これから開催される学術講演会

◎「日本学術会議 in 宮城」公開学術講演会
「積雪・寒冷地域における暮らしのこれまでとこれから」
2022年11月5日(土)
オンライン開催



参加申込→



すでに開催された学術講演会

◎北海道地区会議主催
「地球環境の未来を考える
～カーボンニュートラルの実現に向けて～」
2022年8月16日(火) オンライン開催

◎近畿地区会議主催
「総合知をはぐくむ学び」
2022年9月19日(月・祝)
京都大学百周年時計台記念館



2022/11/5 シンポジウム

←参加申込



学術会議叢書最新号
『人文社会科学とジェンダー』
A5判、322頁
こちらの叢書は好評につき
完売しました。
各公共図書館に寄贈しております
のでそちらでご覧ください。

出版物のご案内

※お申込みはFAXにて 03-5410-1822

品切れを除く近刊の書籍については
Amazonからもお買い求めいただけます。

学術の動向

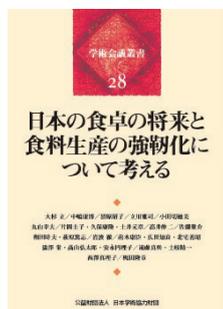


A4判・本体価格 792円 (税・送料込)
年間購読 8,383円 (税・送料込)
賛助会員は毎号1冊無料配布

- 22年 7月号 特集：ELSIを踏まえた自動車の自動運転の社会実装に向けて
8月号 特集：戦後アジアの地域再編と学術の共同
—分断・協調・再分断を超えて
特別企画：JAPAN PRIZE
9月号 特集：ウィズ／ポストコロナ時代の民主主義を考える
—「誰も取り残されない」社会を目指して—

学術会議叢書

A5判 1,980円 (税込・送料別)
賛助会員は割引価格 1,782円 (税込・送料無)



- | | |
|------------------------|-----------------------------|
| 2 科学技術教育の国際協力ネットワークの構築 | 22 地殻災害の軽減と学術・教育 |
| 9 医療事故は予防できるか | 23 子どもの健康を育むために |
| 12 どこまで進んだ男女共同参画 | 24 〈いのち〉はいかに語りうるか？ |
| 16 食の安全を求めて | 25 IT・ビッグデータと薬学 |
| 17 ダーウィンの世界 | 26 社会脳から心を探る |
| 18 科学を文化に | 27 持続可能な社会への道 |
| 20 放射能除染の土壌科学 | 28 日本の食卓の将来と食料生産の強靱化について考える |

日学新書

新書判 本体価格 825円 (税込・送料別)
賛助会員は割引価格 743円 (税込・送料無)

- 2 感覚器 [視覚と聴覚] と社会とのつながり



公益財団法人日本学術協力財団

〒107-0052 東京都港区赤坂 4-9-3
TEL 03-3403-9788
03-5410-0242
FAX 03-5410-1822
URL <http://jssf86.org/>

◎ 当財団の運営、ニュースレター等に関するご意見、ご要望がございましたら、当財団総務担当までお寄せください。
今後の参考にさせていただきます。皆様方のご意見、ご要望をお待ちしています。